

9月1日は「防災の日」

いざという時のために 日頃から災害への備えを

日本は美しい四季や豊かな自然に恵まれている一方、その地理的・気候的特性から、地震や台風、火山噴火、豪雨といったさまざまな自然災害が発生しやすい国です。また、南海トラフ地震の発生も懸念されており、東浦町においても被害が想定されています。

災害はいつ、どこで発生するか分かりません。

大切な命を守るため、一人ひとりが日頃からの備えと正しい知識を身につけましょう。

「自助」・「共助」が命をまもる

大規模災害時には、行政や消防などによる支援「公助」がすぐに届かない場合があります。そのため、自分や家族の身を守る「自助」と、地域や近所の人と助け合う「共助」が被害を軽減する大きな力となります。日頃から地域の人とのつながりを大切にし、災害時に助け合える関係づくりを心掛けましょう。



地域の防災訓練の様子

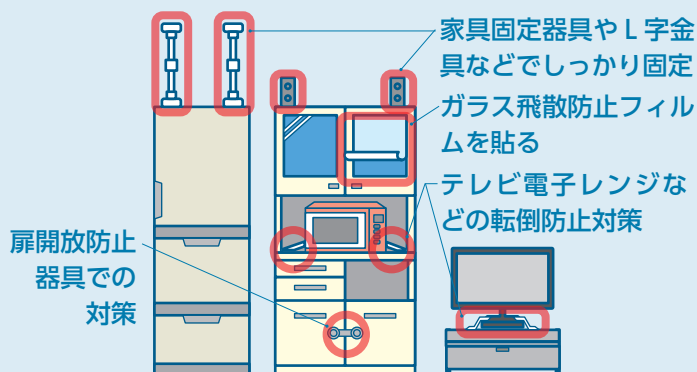
今日からできる災害への備え

すぐにやってみよう!

家具の転倒防止を行いましょう

地震による家具の転倒は、大きなけがにつながります。

- ・寝室や子ども部屋には、できるだけ大型家具を置かないようにしましょう。
- ・L字金具や家具固定器具などを使用し、家具をしっかり固定しましょう。
- ・テレビや電子レンジなどの家電も転倒防止対策を行いましょう。
- ・ガラス飛散防止フィルムを貼るなど窓ガラスの飛散対策も有効です。



食料、飲料水などを備蓄しましょう

災害時には、電気・ガス・水道などのライフラインが止まる可能性があります。各家庭で**最低3日分**、できれば**1週間分程度**の備蓄を心掛けましょう。

- ・飲料水：1人1日3リットルが目安
- ・食料：普段食べ慣れた食品を少し多めに買い置きし、使った分を買い足す「ローリングストック」を取り入れましょう。
- ・生活用品：携帯トイレ(1人1日5回×人数分)、トイレトペーパー、懐中電灯、モバイルバッテリー、救急用品など

3日分の備蓄(できれば1週間分)



日頃の備えが、災害時の被害を減らすことにつながります。
この機会に、ご家庭の災害対策を見直してみませんか。

備えよ常に



東浦町 防災課 山本課長

災害への備えは、特別なことを
 するのではなく、日頃の小さな
 行動の積み重ねです。非常持出
 品の確認、家具の固定、家族で災
 害時の行動や連絡方法を話し合
 うなど、今できることから一つ
 ずつ取り組むことが、いざとい
 う時の大きな力になります。
 災害はいつ起こるかわかりま
 せん。「いつか備えよう」ではな
 く、「今できる備え」を始めま
 しょう。自分の命、大切な人の
 命、そして地域の命を守るため
 に、これからも「備えよ常に」を
 合言葉に、防災意識を高めてい
 きましょう！

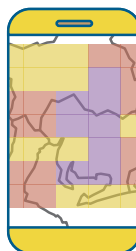
防災情報を確認しましょう

町では、防災行政無線や町ホームページ、町公式LINEなどで災害時の情報を発信
 しています。気象情報や避難情報などを速やかに受け取れるよう、複数の情報収集
 手段を確認し、災害時には正確な情報に基づいて落ち着いて行動しましょう。



キキクル

大雨や洪水による災害の危
 険が、どこで、どのレベルで
 迫っているかを、地図上で知
 ることができる情報です。



東浦町
 防災マップ

防災マップを活用して、日
 頃から家族や地域の方と話
 合いを行い、いざという時
 のために備えておきましょう。



東浦町
 河川監視
 カメラ

町の各河川の状況が画像で
 ご覧頂けます。



ひがしうら
 マップ
 【防災マップ】

町内の防災情報を地図か
 ら検索できます。



ちたまる
 安全安心
 メルマガ

地震や風水害に関する情報
 や町の防災情報などを配信
 するサービスです。



町公式 LINE

災害発生時には避難所情
 報などをお知らせする防災
 モードになります。



家族で話し合しましょう

災害時の集合場所や連絡方法、災害用伝言ダ
 イヤル「171」の利用方法などを日頃から家族
 で確認しておきましょう。



あらかじめ家族や友人間
 で、災害用伝言ダイヤル
 「171」の伝言を録音する
 電話番号を決めておきま
 しょう。

避難場所や避難経路を確認しましょう

東浦町防災マップ(ハ
 ザードマップ)で、自宅
 周辺の災害リスクや指定
 緊急避難場所・指定避難
 所を確認しましょう。あ
 わせて、実際に避難経路
 を歩き、危険箇所や避難
 にかかる時間を確認して
 おきましょう。

